

たかのす

人口と世帯数

(住民基本台帳による)

6月30日現在		(前月比)
総人口	25,480人	(38人増)
男	12,473人	(29人増)
女	13,007人	(9人増)
世帯数	7,059世帯	(11世帯増)

編集と発行 鷹巣町役場総務課広報係



残暑お見舞申しあげます

日中はまだまだかなり暑さはきびしいようですが、立秋(8日)を境にして、朝の気温は下がり始めます。

夏に弱い人も、ほっとするこのごろです。暑さはまだつづくでしょうが、この日からとにかく秋に向かって夢ははじめました。空の色や風の気配にも微かな季節感がこもるのがふしぎです。(東小学校プールで)

No.414

54・8・15



「知事と行政懇談会ひらく」

道路問題など要望

佐々木喜久治知事が就任して初めての市町村訪問「知事との行政懇談会」が、七月二十七日役場で開かれ、およそ一時間三十分にわたって町の要望事項などについて懇談しました。

当日は午前十一時、佐々木知事は加藤地方課長、それに北秋田地方部長ら出先機関の幹部職員を伴って来町。町からは出川町長をはじめ各課長、沢田議長、議会各常任委員長、それに農業委員会、農協、森林組合、青年会、婦人会の各代表等が出席して開かれました。最初に佐々木知事があいさつ、続いて加藤地方部長から昨年度の要望事項の措置状況が報告され、今後継続する事業もあるが、おおかた完了、または工事中であると述べました。このあと出川町長から町の要望が説明されましたが、次のような回答がありました。

用地の確保あれば実現

▽町道七日市、松沢線の内、七日市・妹尾館間一千六百十メートル、幅員

七メートルは、本年度山村振興事業として実施されるが、引き続き三百三十一メートルを延長実施し、一〇五号線に連結してほしい。

用地の確保があれば、建設省と協議の上、ぜひ実現を図りたい。

▽県道矢坂・糠沢線の町界付近が未開通となっているので、早期開通を図りたい。

現在工事中であり、早期開通に努力する。

今年度内にルート調査

▽県道大館・鷹巣線の未開通部分、大坂から田沢までの四千二百メートルを早期に開通を図りたい。

今年度内に全線のルート調査を完了、できれば一部用地買収に入りたい。

▽視聴覚ライブラリーの機能を併設した県立図書館分館の建設をしてほしい。

県立図書館は、市町村の図書館に図書貸し出しなどサービスに努めており、今後もこの方向ですべていきたい。よって分館建設は考えていない。

一度に三橋架設は無理

▽主要地方道鷹巣・合川・堂川線の起点を太田地内の一〇五号バイパスとし、町道住吉町線、大町本

屋敷線（中谷線）を通り、米代川を横断し、川口地内の鷹巣・合川・堂川線に接続するよう変更された。

用地の買収、その他の面でもいまやった方がよいことは承知しているが、現在は一〇五号線バイパスに全力をあげており、また栄橋にもとりかかろうとしているときであるので、一気に三本は無理である。一〇五号バイパスにメドがついた時点で考えたい。

また、現在の鷹巣橋の老朽がすすんでいることについては、調査の上、危険があるとなれば補強を考えている。

このほか参加者から、▽宿泊のできる県立の総合研修センターの建設、▽移動図書館の配置、▽農振地域の緩和、▽林道、作業道整備への助成金の増額、▽農林道の採択基準の緩和、▽水田再編対策に伴う農政問題、▽鷹巣警察署に交通巡視員の配置——などについて要望、知事との行政懇談会をおわりました。

出川町長が鷹阿広域管理者に

鷹巣阿仁広域市町村圏組合の管理者（五ヶ町村長）会議は、七月三十日午後二時から北秋田町村会が開かれ、新管理者に出川礼一町長が互選され、八月一日から就任しております。

町長 日誌

31日	鷹巣阿仁広域市町村圏組合議会	16日	治水砂防協会秋田県支部設立三十周年記念総会
30日	鷹巣阿仁広域市町村圏組合議会	17日	臨時町議会
27日	秋田県議会議長会役員、評議員合同会議	18日	七座簡易水道新設工事起工式
22日	町納税組合総会	19日	合川高校組合議会
21日	町納税組合総会	20日	秋田県道路利用研究会議
20日	町納税組合総会	21日	町納税組合総会
19日	町納税組合総会	22日	町納税組合総会
18日	町納税組合総会	23日	町納税組合総会
17日	町納税組合総会	24日	町納税組合総会
16日	町納税組合総会	25日	町納税組合総会
15日	町納税組合総会	26日	町納税組合総会
14日	町納税組合総会	27日	町納税組合総会
13日	町納税組合総会	28日	町納税組合総会
12日	町納税組合総会	29日	町納税組合総会
11日	町納税組合総会	30日	町納税組合総会
10日	町納税組合総会	31日	町納税組合総会

「一周四百メートルの公認陸上競技場」

県内初の全天候型

『年内完成をめざし工事急ピッチ』

県内では初めての全天候型陸上競技場（一周四百メートル、第三種公認）の建設が、鷹巣中学校グラウンドの隣接土地を拡張して急ピッチですすめられており、一部芝張りなどを残し、陸上競技場は年内には完成することになりました。

全天候型トラックとは、路盤にアスファルトを敷き、その上に厚さ二・五センチの特殊合成ゴム、レジライトを張りつめるもので、水はけがよく、雨天でも競技ができる

県内では初めての陸上競技場となります。

造成中の陸上競技場は、鷹巣中学校グラウンドに隣接する土地一万七千五百五十五平方メートルを買収、同グラウンドを拡張する形で造成するもので、総面積は約四万三千九百平方メートルになります。

トラックは、一周四百メートルでハコース、直線は百五十メートル。フィールドには走幅跳、走高跳、三段跳、砲丸投、円盤投、ハンマー投、槍投などの競技施設が設けられるほか、フィールド内でサーカス、ラクビーの試合もできる広さをもっています。

陸上競技場の全体計画では、一周四百メートルのトラックのほかに、本部席、器具庫、男女更衣室、両便所も備えた管理棟、駐車場二カ所、公衆便所二カ所、庭園、芝生スタンド、それに四面のテニスコートなどが予定されています。

造成中の陸上競技場



国民年金

8月は福祉年金
証書の提出を

八月は福祉年金の受給者が、年金証書を役場に提出する月です。

なお、工事費は用地買収三千三百九十六万円、敷地造成に一千九百九十九万円、設計五百九十九万円、現在工事中のトラック工事に一億一千九百九十九万円、公認備品七百九十九万円、ほかに管理棟、駐車場、便所、テニスコートなどに約四千万円が予定され、総事業費は約一億七千三百九十九万円が予定されています。

福祉年金は、一定の額以上の所得があったり、他の年金を受けていたりすると、支給を停止される場合があります。この調査のため、毎年一回「所得状況届」を提出してもらい、あわせて、他に恩給や年金を受けている方は申し出てもらうことになっています。

この手続きをすることによって、八月分から向う一年間の福祉年金が受けられるかどうかがきまります。もし、福祉年金証書の提出がおくれまると、十一月支給分の福祉年金が受けられないことにもなりかねません。

八月分の福祉年金を受けとつたら、すぐに証書を役場年金係に提出しましょう。

五十五年歌会始め
お題は「桜」と決る

昭和五十五年歌会始めのお題および詠進歌の要領が、次のとおり決まりました。

▽お題「桜」（花木の桜ですが、花と詠むことはふさわしくありません。）

▽詠進歌の詠進要領
①詠進歌は、自作の歌で一人一首とし、未発表のものに限ります。

②用紙は、半紙（習字用の半紙でよい）とし、毛筆で自書してください。

③書式は、半紙を二つ折りにして、右半面にお題と歌、左半面に郵便番号、住所、氏名（ふりがな）生年月日、職業を書いてください。

▽注意事項

次の場合には、詠進歌は失格となります。

- ①一人で二首以上詠進した場合
- ②詠進歌が既に発表された歌と同一または著しく類似した場合
- ③詠進歌を歌会始めの前に新聞や出版物、年賀状等により発表した場合
- ④その他詠進要領によらない場合

▽詠進の期間
九月一日から十月十一日まで

とし、郵送の場合は消印が十月十一日までのものを有効。

▽郵便のあて先
〒100 東京都千代田一番一宮内庁とし、封筒に「詠進歌」と書き添えてください。

▽疑問があれば、直接、宮内庁式部職あてに、郵便番号、住所、氏名を書き、返信用切手（五十円）をはった封筒を添えて、九月末日までに問い合わせてください。

54年版秋田県勢
要覧を予約受付

躍進する秋田の姿を、人口、産業、経済、社会、行政などの各分野にわたり、最新の統計数字と各種のグラフで紹介する五十四年版「秋田県勢要覧」の予約を受け付けます。

申し込み締め切りは、八月二十日まで、部数に制限がありますので、購入希望の方は早めに役場企画財政課企画係へお申し込みください。

価格は、一冊一千六百円となっています。

7月27日の集中豪雨で

被害額四億六千万円強

河川や農業関係で

去る七月二十七日夕方から二十八日早朝にかけて、局地的に襲った集中豪雨は、一夜で百十七ミリにも達し、特に田沢川、糠沢川、綴子川上流、黒沢川の各河川で増水はらん。河川や道路の欠壊、田畑の埋没流失など大きなツメ跡を残し、一夜の豪雨で被害額は四億六千四百万円にも達しました。

今回の集中豪雨は、短時間のうちに一部中小河川が増水したため、役場では関係職員が早朝から被害調査と水防活動を開始。また田沢部落では、住宅裏のコンクリート

製擁壁が倒れ住宅が傾いたため、消防団員が出て土砂の排除作業を行ったほか、綴子、坊沢地区で床上や床下浸水の被害がでたため、消毒作業が行われました。

町では、災害復旧に全力を尽しておりますが、災害を受けられなかった各位におかれとも、農作物等特段の管理が望まれるところです。八月二日現在まで調査の被害は次のとおりです。

〔公共土木災害関係〕 〽七十五カ所、被害額二億二百五十万円
 〽道路 〽綴子二カ所二百九十万円、坊沢二カ所四百四十万円、七座七カ所一千二百十四万円、七日市一カ所四百四十万円、鷹巣一カ所七十六万円、計十三カ所二千三百三十万円
 〽河川 〽綴子十七カ所三千三百四十万円、坊沢四カ所二千二百三十万円、七座二十二カ所七千九百九十万円、今泉一カ所八十万円、栄十六カ所四千六百六十万円、沢口一カ所八十万円、計六十一カ所一億七千八百八十万円
 〽橋梁 〽坊沢一カ所二百四十万円

〔農業災害関係〕 〽三百四十四カ所、被害額二億五千六百三十万円

〽農地(田・畑) 〽坊沢四カ所二百二十万円、七座十八カ所六百九十万円、七日市二カ所五十万円、沢口三カ所七十万円、栄十七カ所六百四十万円、綴子百二十カ所五千八百八十万円、鷹巣二カ所五十万円、計百七十五カ所七千七百二十万円

〽施設関係(水路、農道、頭首工、橋梁、ため池、揚水機等) 〽坊沢十七カ所一千四百四十万円、七座二十五カ所二千五百五十万円、七日市二カ所六百四十万円、沢口二カ所百四十万円、栄十六カ所一千五十万円、綴子百三十三カ所一億二千六十万円、鷹巣四カ所七百五十万円、計百六十九カ所一億八千五百四十万円

中高年齢者の雇用促進奨励金制度

最近の厳しい雇用失業情勢、および急激に到来する高齢化社会に対応し、失業の予防と雇用の安定を図るため、事業主にに対し、次のような雇用促進に関する給付金制度を設けております。本年四月一日以降、単価が引き上げられましたのでご利用ください。

〽中高年齢者雇用開発給付金

安定所の紹介で中高年齢者(四十五歳以上六十五歳未満)を常用雇用し、その雇用割合または雇用者数を高めた事業主にに対し、その労働者に支払った十八ヵ月分(四

十五歳以上五十五歳未満は十二ヵ月分)の賃金の五分の四、ただし後半の六ヵ月分については三分の二を助成します。

〽高齢者雇用奨励金

高齢者(五十五歳以上六十五歳未満)を安定所の紹介により常用雇用した事業主にに対し、当該労働者一人当たり月額一万四千円を十二ヵ月間支給します。

〽定年延長奨励金

定年制が労働協約または就業規則で定められており、その定年年齢が四十八年四月一日以降五十六歳以上に引き上げた事業主にに対し、旧定年による退職予定日後も引き続き雇用されている、五十五歳以上六十五歳未満の者一人当たり月額三十六万円を支給します。

〽継続雇用奨励金

労働協約または就業規則で六十歳以上の定年制のある事業主で、五十年五月一日以後定年到達者(六十歳以上六十五歳未満)を、定年到達後引き続き勤務延長または定年退職後七日以内に再雇用し、一年以上継続雇用した場合に、当該労働者一人当たり月額十八万円を支給します。

〽心身障害者雇用奨励金

心身障害者を安定所の紹介により常用雇用した事業主にに対し、一人当たり月額一万四千円(重度障害者一万六千円)を、十二ヵ月(重度障害者十八ヵ月)支給します。※受給のための手続きや、くわしいことについては大館公共職業安定所鷹巣出張所(電話二二一四〇)へ。



擁壁が倒れ住宅が傾く(田沢)

西小学校下の水路が欠壊、水田が埋没

摩当川の増水

おしらせ

ゴミ収積所は
みんなできれいに

ゴミ収積所に木の枝、古材など家庭の掃除以外のゴミが出されまわっています。

木の枝などは各自で処理するよう、ご協力をお願いします。

「54年9・10・11月」

全国消費実態調査

ことしの九月から十一月までの三ヶ月間にわたり、昭和五十四年全国消費実態調査が全国的に実施されます。

この調査は、国民の暮らし向きを家計の面から総合的にとらえることをねらいとした統計調査です。今回の調査は、日本の経済が高成長から安定成長に移ってから初めて行われるもので、安定成長

期における国民生活の実態を浮き彫りにすることとなります。

調査では、全国から抽出された約五万三千世帯に九月から十一月までの三ヶ月間、家計簿をつけていただくことになっています。調査員が皆様のお宅へうかがうおりは、ご協力くださるようお願いいたします。

なお、調査された事柄は、統計をつくるために使用され、調査関係者が他に漏らすことや統計以外の目的に使用することは、法律で固く禁じられていますので、どうぞありのままをお答えくださるようお願いいたします。

出かせぎ労働者
技能講習会案内

出かせぎ労働者を対象に、車両系建設機械運転の講習会を九月三日から七日までの五日間、鷹巣高等職業訓練校で開きます。

受講希望者は、八月二十七日まで鷹巣町出かせぎ相談所（役場商

工観光課）に申し込みください。なお、講習料金は無料、講習修了者には修了証書が交付されます。

『世界農林業センサス』

標語、ポスター募集

農林水産省では、来年の二月一日に行われる世界農林業センサスの標語とポスターを募集いたします。

このセンサスに農家、林家の皆さんの協力が得られるように、傑作をお寄せください。

▽標語：官製はがきに一枚一句（応募枚数は一人三枚まで）。

送り先は、東京都目黒区目黒二一―一四、大鳥ビル 農林統計協会。

▽ポスター：タテ七十二センチ、ヨコ五十一センチに「世界農林業センサス」「昭和五十五年二月一日」「農林水産省」の文字を入れること。色は文字を含め五色以内。送り先は、秋田市山王四丁目一―一 秋田県企画調整部統計

ください。

皇居護衛官募集

皇居、御所、御用邸などの警備および天皇、皇后、皇太子、皇太子妃、その他の皇族の護衛などの業務に従事する皇居護衛官の募集をします。

受験資格は、昭和三十一年四月二日から昭和三十一年四月一日生まれまでの男子。（学歴を問わない）

試験日は、第一次試験：十月二十一日、第二次試験：十一月二十六日、二十七日の指定する日。

受付期間は、八月二十四日から九月六日まで。申込用紙の請求は、仙台市本町三三―一 人事院東北事務局（電話〇二二―一六四〇二三八）となっています。郵便で請求する場合は、封筒の表に赤字で「皇宮請求」と書き、五十円切手をはったあて先（郵便番号も明記の返信用封筒を同封してください）。

また、道路には、上・下水道管、電話のケーブルなどが埋設されています。これらの設備は、わたしたちの日常生活に欠かすことのできないものばかりで、道路は「道の下」ならぬ「緑の下の力もち」として、わたしたちの暮らしを支えています。

破損されたままの道路や、狭い上に自転車やゴミ箱が乱雑に放置された道路では、いざというときの救急活動や避難もままなりません。

暮らしを支える
「緑の下の力もち」
8月・道路を守る月間

通勤、通学、買い物、散歩、ドライブ、貨物の運送――わたしたちの日常生活は、道路抜きにしては考えられません。

しかし、わたしたちはふだん道路の役割について、ことさらに意識することもなく、毎日を送っている

ように。八月は「道路を守る月間」です。この機会に「暮らしの中の道路」についてスポットを当ててみましょう。

道路は、先にあげた日々の暮らしに欠かせないだけでなく、地震

また、道路には、上・下水道管、電話のケーブルなどが埋設されています。これらの設備は、わたしたちの日常生活に欠かすことのできないものばかりで、道路は「道の下」ならぬ「緑の下の力もち」として、わたしたちの暮らしを支えています。

道路は、わたしたちみんなの財産です。汚さず、こわさず、いつもきれいに保つよう心がけたいものです。



県青年海外研修

訪ソ二週間の報告

七月五日から十四日間にわたってソ連各地を視察する県青年海外研修に、当町からトビリシコースに田中 工藤愛子さん(38) 糠沢 出川喜英さん(27)、タシケントコースに脇神 島山恵美子さん(36)、小ヶ田 中島政之さん(24)の四人が参加、ソ連の生活や文化など各分野に大いに見聞を広めてきましたので、それそれの参加者から寄せられた感想文を紹介します。

ソフォーズを見学して

田中 工藤 愛子

ソフォーズは、ソビエト経営という意味の略で、ソビエトの支配的農業形態の一つである。現在ソフォーズの数は一万五千あるそうだが、私達は、野菜と果樹の二カ所を見学することができた。

総面積三千haの内、果樹が四百七十二ha、野菜(ハウス)が五十四haで、三千三百人の人が働いていた。その中で女性が責任者、農業技師など重要な仕事で活躍して

いた。また、工場や町でみかける電車の運転、左官工事など、あらゆる分野に女性が見受けられ、男女同権のソビエトという光景であった。しかしその反面、母体保護を図るため、ここでは女性に消毒作業は絶対にやらせていないということであった。

年収二千五百万ルーブルに達するこの農場の生産高は一万五千で、ほとんどがモスクワ市内で消



中島政之 出川喜英
島山恵美子 工藤愛子

費され、トマト、キュウリが最盛期であった。ハウス栽培をして十年目、働いている人の七十%は女性で、平均年齢三十五歳と若く、賃金は百八十ルーブル(一ルーブル三百三十円)で月二回に分けてもらうそうだ。人口は九千人で、すべての教育施設、娯楽施設、病院などが整っていた。

トビリシでは、果樹農園を見学した。一九五七年に造られたこの町は、六百七世帯四千人が住んでおり、住居はすべて十二、三階の高層アパートで、セントラルヒーティング、バス等が整っていた。以前は、果てしない砂漠地帯で、開拓当時の苦労した様子を映写で見せてもらった。

果物はあらゆるものが作られており、その中で桃が最も収入が多く、加工にも回している。ぶどうはお酒用として出荷されていた。この農場は、一戸当たり千平方メートルの畑を国から借りることができ、平均賃金は百六十五ルーブルだが、機械操作の人は三百ルーブルもらえると云っていた。労働は八時間で、長期にわたって休む事は困難だということだ。

ここには農業専門学校がないので、ソフォーズから奨学金を出して他の町で勉強するが、毎年三十

婦人の労働と社会保障

人位卒業するうち、三分の二ぐらいトビリシに戻って働く。帰りに野菜や果物を売っている

どこへ行っても濃い緑の中に家がある広い街並に、まず目についたのは女性の働く姿でした。

ナホトカ港で歓迎してくれた副市長、列車の車掌、ペンキ塗り、電車、バスの運転手、飛行機の整備士、女医、縫製工場長、市教育部長等、日本では考えられないことでした。また、交流会や分科会には地区党、書記長、大学教授、女医等多数出席しましたが、男性は少なく、どこへ行っても女性ばかりで男性はどこにいますのかと思いました。

女性の立場や労働の価値が十分に認められているので、女性の九十%が就業し、国の保護が充実しているため、あらゆる分野への進出がなされているのでしょう。

婦人が国家の重要な労働力となっていることは、それを可能にする条件と社会施設が完備しているからだだと思います。有給休暇のほ

か、産前産後各二ヵ月、無給一年間の育児休暇、看護休暇、一ヵ月の夏季休暇、保育所、幼稚園、ピオネールキャンプ場等完備され、医療費、義務教育の無料、通信教育受講者に年二回の休暇など、また年金制度は五十五才で給料の七十%が、重労働者には五十才から年金が支払われ、退職後は労働評議会に入り、会社に出向いて技術指導にあたり、楽しい余生を送っているということでした。

男女同一の仕事、それはあたりまえのことではあっても並大抵のものではないと思います。しかし国家のために労働を生活の根本目的としている婦人達は誇りにこそすれ、辛いと思うことはないようでした。

見学した縫製工場の壁には成績優秀でレーニン賞を貰った婦人の写真が多数飾られておりました。余暇はサークルや趣味、夜間通

バザール(市場)へ寄ったが、私達のライターやたばこは果物の交換を喜んでくれた。

ソビエトは日本より十年遅れているといわれているが、日本の良さをいたる所で強く感じてきた。素材で質素な私生活と、公共物のすばらしさ、他人に対する思いやりの深さに心をうたれ、訪ソを契機に自分を、地域を見直す良いチャンスであったように思います。

脇神 島山 恵美子

信教育受講等のほか平和を守るため平和委員会や婦人委員会を作り活動しているということでした。日常生活用品に不自由しながらも質素な生活をし、家族とのふれあいを大切にして大らかに生きていく婦人達に、ぜひ沢木さんの生活を指摘されたような気がします。

「太陽の街」を見学して

糠沢 出川 喜英

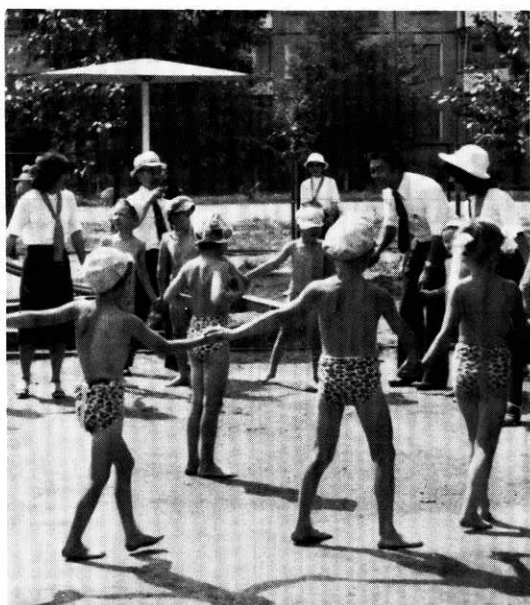
研修旅行で訪問した都市の内、一番印象に残ったのはレニングラードでした。歴史的な建造物と文化遺産が街のあちこちにあり、ちょうど京都のような街でした。

このレニングラードの中心部から、郊外へバスで約一時間、フィンランド国境まであと二百きというところに、子ども達の療養施設「太陽の街」があります。周囲を松林に囲まれ、フィンランド湾に面した百加にも及ぶ広い敷地の一角に、モザイク風の壁をした建物がいくつも並んでいる太陽の街は、二歳から七歳までの病弱な子どもを三ヶ月間施設であずかり、集団生活の中で治療をするところなんです。連にはこういう施設がかなりあり、私達の見学したところは、レニングラードの四ヶ所の施設の中で一番大きいところでした。

ここは年間四千人の子ども達を収容しているとのこと、所長さんの案内で子ども達の生活しているようすを見学させてもらいました。普通天気の良い日は外で遊ば

動めの後田畑に行き、子供達と話し合う暇もない程働き続ける日本人。社会主義国が良いと言う訳ではないが、もう少し心と身体に余裕をもつて、良い所を取り入れソ連の婦人達のように明るく大らかに生きたいものだと思います。

せておくとのことでしたが、我々のため特別に部屋で体操や歌などを見せてくれました。ごほうびに日本から持ってきた人形やコケシ、パッチなどをあげましたが、とてもめずらしい感じが可愛らしい目を輝かせていたのが印象的でした。ここに入っている子ども達の多くは、病院から移されてくることで、主な病気は呼吸器系、腎臓、心臓、胃腸病であり、最近の傾向として、交通事故による障害児が増えているとのことでした。治療法は、なるべく薬を使わない物理療法、つまり体操、マッサージ、電気が主であり、また子ども達のいやがる治療を遊びの中に取り入れ成功している例として、歯の治療をあげていました。治療する子ども他二・三人の子どもを歯医者さんの格好にし、歯医者さんごっこをさせながら治療するというもので、これをいやがる子どもはいないそうです。このように、子どもたちの興味をそそることや、ちょっとした工



冬の長いソ連では、日光浴を兼ねてどの幼稚園でも見られる裸での遊戯風景

夫によって治療を楽しむものにする心づかいに、大いに感心させられました。両親の面会も月二回許されており、単なる療養施設としてだけではなく保育園的な要素もあり、その点は心配がないと説明がありました。

極東農業研究所を訪ねて

小ヶ田 中島 政之

極東農業研究所はハバロフスク市内にあり、主として寒冷地帯での農業についての諸研究がなされています。最初に極東の農業の概略について説明を受けました。極東地区ではダイズ・ジャガイモ等の穀類を中心とした作物と、家畜の飼料用としての作物が作付けられています。しかし、耕地の土壌

我々の目から見れば、ソ連は生活水準は日本と比べてかなり低いように見受けられましたが、子ども達の教育や文化的なものに、かなり力を入れているように思われました。

条件が悪いうえに沼地が多いため排水不良地が非常に多く、計画通りに農業生産が伸びず、そのため暗渠、明渠による土地基盤整備に力を注いでいるとのことでした。そのうえ、自然条件にも恵まれず冬期間には気温がマイナス四十度まで下がるそうです。極東の気候は複雑であり、特に、太平洋の気

候の影響がおおきいとの説明でした。このようなきびしい諸条件のため、主食である麦類の作付けは限定され、消費に必要な麦はカナダからの輸入にたよっているそうです。このため、沿海州においての米の飛躍的な生産量の伸びに非常に興味があるとのことでした。

つぎに農業従事者のことについてみると、ソ連でも農村の若者の多くは都会へ集中する傾向が著しいそうです。報酬が少ない肉体的労働という性質からいうと、そのため政府では様々な恩恵制度を設けています。たとえば貸金を都市部より地方の勤労者に多く与えたり、地方の文化施設の充実に努力しているとのこと。農作業面では機械化を進めていると、その集落を団地化しているとのこと。農業と他産業との所得格差の是生に努め、収穫段階をいかに迅速に進めるかが今後の問題となるようです。

そのほか、畑地条件によって作物を選定して、雑草が多く発生すると次年度に麦類を多く作るといった具合になります。試験場の研究データーは展示会・マスコミなどにより報道するほか、特別なプロジェクトチームを編成して主に冬期間農村に派遣しています。今回の研修視察では、シベリアの厳しい条件下における農業問題の一面をかいまみることができただけでも大きな収穫であったと思います。あらためて、私たちの地域の恵まれた環境条件を再認識させられました。

鷹中男子バレー部



全国大会に

バレー男子と
陸上の佐藤さん

＝全県中学校総合体育大会＝

鷹中健児活躍す

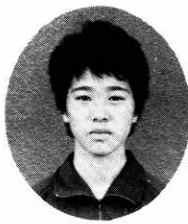
七月下旬、秋田市で行われた全県中学校総合体育大会に、郡市大会で勝ち抜き出場した鷹中選手はよく健闘、バレーボール男子、陸上八百メートルで男女とも優勝したほか、各種目で大きな成果をあげました。

なお、バレーボール男子と、陸上八百メートル標準記録を突破して優勝した佐藤ユカリ選手は、県代表として全国大会に出場することになっており、その活躍が期待されます。

○：バレーボール男子は、一回戦シードで不戦勝、準決勝「山内中決勝」「十文字中」とともに二対〇でストレート勝ちをし優勝したものです。

なお、優勝した男子バレーボール部は、八月十六日から十八日まで東京都体育館で行われる全国大会に県代表として出場、全国制覇をめざします。

○：陸上競技女子八百メートルに出場した佐藤ユカリさん（三年）は、標準タイム二分二十三秒五を破る二分二十秒八の堂々たるタイムで優勝。八月二十六、二十七日の両日、



全国大会に出場の
佐藤ユカリさん

東京国立競技場で行われる全国大会に出場します。

また、男子八百メートルでは高橋敏治君（三年）が、標準記録には及びませんでしたが二分四秒九のタイムで優勝を飾りました。

○：剣道女子は、予選リーグで勝ち、決勝トーナメントにすすみ、一回戦「八幡平中」は二対一で勝ち、準決勝では、この大会で優勝した「五城目中」と対戦、一対一のタイとなり代表戦を行いました。が、惜しくも敗れ第三位となりました。

また、個人でも今川美保子さん（三年）がよく健闘、第三位に入賞しました。

○：相撲では、一年個人の部で畠山清暢君と佐藤太君がそれぞれ第三位に入賞しました。

中小企業者のための
移動相談室

秋田県中小企業振興公社では、中小企業者の相談、指導事業を一層強化、充実させるため、「移動相談室」を開設します。

当町は、八月二十一日午前十一時から午後四時まで、北秋田地方総合庁舎で開設されます。

相談内容は、▽企業の登録に関すること、▽発注、受注に関すること、▽下請取引における苦情、紛争の処理に関すること、▽経営の合理化、技術の向上に関すること、▽機械設備の近代化に関すること、▽その他下請取引に関すること



図書館だより

「あなたも何か、作ってみませんか」新技法シリーズ紹介

図書館では趣味の独自学習の参考になればと思い、「新技法シリーズ」全百冊を購入しました。ご利用ください。

「彫刻をつくる」「人物を描く」「やきものをつくる」「デザインスケッチ」「染めもの」「静物を描く」「シルクスクリーン」「手織りの基本」「ポリマー・ペインティング」「アニメーション」「リトグラフ」「写真製版・シルクスクリーン」「風景を描く」「工業デザインプログラム」「七宝焼」「風景を描く」「工芸染色ノート」「日本画の制作」「切り紙」「模型飛行機入門」「油絵をシステマで学ぶ」「（油絵の制作）花のタブロー」「マスキのイラストレーション」「木工道具の仕立」「スポーツ写真入門」「オートスライド入門」「クロッキーの魅力」「（油絵の制作）西の京を描く」「ポートレート入門」「木版画入門」「街をスケッチする」「はじめての油絵」「（油絵の制作）高原を描く」「インド更紗入門」「文字をつくる」「靴をつくる」「イラストレーションの制作」「舞台衣裳入門」「創作のおりがみ」「はじめてのクロッキー」「ガラス絵の魅力」「（油絵の制作）抽象画を描く」「筆でデッサンする」「はじめての水彩画」「木彫入門」「写真基礎技法」「現代木版画」「鉛筆で描く」「日本画の写生」「細密密描法」「布でつくる人形」「草木染・糸染の基本」「写真の思想」「はじめての織物」「油絵の基本」「紐を織る」「鍛金の実際」「欧文学の基本」「日本画の表現技法」「きものろうけつ染」「楽しい写真入門」「形と比例」「幻想画の発想と表現」「地図をつくる」「ペン画の表現技法」その他、略。



カメラ・ルポ

カメラ・ルポ

カメラ・ルポ

『消防団員の総合訓練大会』

規律で七日市分団優勝

町消防団(村上儀八郎団長)の総合訓練大会が、八月二十二日午前九時から西小学校グラウンドに三百五十人の団員が参加して行われました。

総合訓練は、規律、小型ポンプ操法、自動車ポンプ操法の三種目で行われ、各団代表の団員は日頃の訓練成果をキビキビと披露していました。

なお、各種目別の優勝は、規律は第十分団(七日市)小型ポンプ操法で第六分団(栄)、自動車ポンプ操法は第三分団(坊沢)でした。



『子ども会キャンプ村開く』

ハンゴウ炊飯など実習

第十六回子ども会キャンプ村が、八月一、二の両日中央公園キャンプ場に、各子ども会の代表百三十人が参加して行われました。

キャンプ村では、テント設営、はんごう炊飯、自然観察などキャンプの基本を学んだほか、夜はキャンプファイヤーを囲んでの集い。翌日は、朝食後、あいにく雨が降り出したため会場を中央小学校に移し、各子ども会の情報交歓やゲームを楽しみ、午後二時三十分解散しました。

『第十回全日本大学選抜相撲大会』

団体で専修が初優勝

第十回全日本大学選抜相撲秋田大会は、七月二十九日午前九時から鷹巣体育館特設土俵に二千五百人の観衆を集めて行われました。

大会には、学生相撲上位十二校八十四選手が出場して熱戦を展開。団体戦は、決勝で明治大学を三対二で破った専修大学が初優勝、三位は東京農業大学。個人戦では、身長百八十六センチ、体重百六十キロの巨漢小谷一美選手(日大)が優勝、二位川上(拓大)、三位阿部(駒大)でした。(写真は初優勝の専修大学)



どうすすめる

地域ぐるみ活動

『青少年問題協議会』

町の青少年問題協議会(会長出川礼一)は七月二十三日午前十時から役場の大会議室で開かれ、問題の現状と健全育成の今後のすめ方について熱心に話し合った。

遊び型、性非行が増加

まず、鷹巣警察署長から、管内の青少年補導状況について、大要



青少年問題協議会の話し合い

つぎのような説明があった。
補導された数は昨年の六百四十

五名がピークで、現在も減少しておらず、「遊び型」「性非行」「高校生」「女子」が増えている。具体例を挙げると、

「万引き」「店に行ったら誰もいなかったので」「友達に誘われてちょっと失敬してみた」「見つければ返せばよい」などと、罪悪感がない。万引きを誘発するスパーにも責任があると思う。

「酒、たばこ」友人をつれてきて飲ませる。かくれて飲むことが、招き招れることからエスカレートしている。たばこは、「言い聞かせても聞かない」という親の弱さが問題で、小さいことを守れないと良心が麻痺するものである。

「不純異性交遊」「お互いに愛し合っているから」と罪悪感がない「家出」「勉強が嫌い」「家の出が面白いから」と逃避型の家出が多い。日雇いなどでなんとか食っていけるということから恐怖感がなく、遊びと考えている。保護者も警察から言われるまで探そうとしない放任型が多い。

このようなことから、地域総ぐるみでなければ、青少年の健全育

成は望めない。と、結んだ。

足なみそわぬ

育成団体の活動

つぎに地域ぐるみ活動について話し合った。近頃は青少年の問題が頻発することから、多くの団体や機関で健全育成の活動に熱心である。しかしお互いの連けいが少く、足並みが揃わぬことから事業活動の重複や競合がみられ、期待するほど効果があがっていない。

一体化の方向を

めざす鷹巣地区

そこで鷹巣(旧町)地区では関係団体、機関の長、実践リーダーをもつて地区会議を組織し、情報を交流し共通理解のもとに事業を調整し、具体的な活動を推進しようとしている。

また、各婦人団体は連絡協議会を結成、今年度は小・中・高校生の親を対象の意識調査や、児童生徒の「古里めぐり」をしたことが発表された。

坊沢地区の防犯組合、綴子地区の自治会長会議の青少年健全育成活動のことも紹介された。

生徒自身の自覚が大切

だが、ご本尊の生徒自身の自覚を促すことをしなくては、ということになった。七座、七日市、栄地区の高校生を持つ親の会の活動もあることだし、とにかく、それぞれの地区で、実情に合った組織、事業の持ち方をくふうしようということで散会した。

部落訪問



くろ葛

くろ黒

秋北バス明利又ゆきは、中畑大畑部落を過ぎると、険しい岩壁と溪流の間を走り葛黒部落に入る。役場からは十四軒のここは奥見内川が小猿部川に合流する所で、現在五十三戸、この沢では最も大きい集落である。

ここには明治四十年から昭和四十七年までの六十五年間、葛黒小学校があつて千二百二十一名の卒業生を出している。その校舎は今、縫製工場になり、この地域の女子たちの働き場になっている。校庭には、門ヶ沢部落の九戸が移転して新しい街並みをつくっている。

堀部誠孝氏(前七日市農協専務)を訪ね、部落の今昔を聞いた。

昔、奥見内の沢に「白沢」という集落があつて、いつの頃からか、門ヶ沢と葛黒に分れ住むようになった。白沢には長岐寺というお寺もあったようだ。七日市の竜泉寺にはこの仏様で、三百回忌というのがあることから、それ以前のことであろう。今から百八十年程前のことになるが、水利の便の悪いこの部



(公民館長 長崎 久)

落の人々は五百米以上も岩壁に板をあて、水路を作り水田耕作をしていたが洪水で流され十年以上も亡村になったとある。(「小猿部の光」昭和十二年刊) 現在は、戦後の開田も加えて約七十haの耕地をもっている。上流の明利又の鉾山が閉じてから、水がきれいになり鱒や鮎が登ってくるようになった。しかし、官山の造林で雑木林が姿を消したせいか、食べものを求めて熊が近くに出没し、山菜とりなど危険だ、と言っておられた。

葛黒部落は今、環境整備事業として、生活排水の地下処理、ゴミ集積所の改善等を補助を受け、勤労奉仕による手づくりですすめようとしている。婦人の生活改善グループ、青年男子の活動もめざましいものがある。部落自治会長の堀部哲秀さんは「明年は部落会館の改築をしたい」と、語っていた。



ぼくのおかあさんは、ふだんはきびしいけれど、ほんとうはとてもやさしいおかあさんです。ぼくのいうことを、すぐではないけどあとできいてくれるからです。おかあさんは、しゅう字がうまいです。ぼくも、おかあさんのように、字がうまくなりたいです。

ぼくのおかあさん



西小 2年

佐藤 かずしげ



綴子下町大川 千尋 (22)

「手話を学ぶ会」の活動から

地元にも手話を学ぶ場が欲しいというところから、「一般の方々に手話を広め、手話を通して耳の聞こえない方々と親しくなり、これまでの偏見を少しでも無くし、良き理解者をふやしましょう」という事を目的に手話講習会を開催しようと、大館手話研究会に入っていた仲間四人が集ま

り、「手話を学ぶ会」を一月に発足しました。手話講習会経験者は一人だけというところもあって、どこに連絡が必要で、内容はどのようなべきなのか、準備はどのようにすすめるか、良いのかわからず、とまどいもありましたが、ポスターが出来、案内文が出来、中でも、毎晩十二時すぎまでかかり、四泊五日で校正したテキストの印刷が出来た時は感無量でした。また、不十分なテキストを使つての不十分な講習会内容にもかかわらず、受講生からの「毎回、来るのが楽しみです」という、うれしい声は四ヶ月近い準備の苦労も忘れさせ、「やって良かった」と思わせてくれました。

そんな講習会も終り、「手話を学ぶ会」としての役割も終りましたが、これをきっかけに、本当のサークル活動を中心とした会を発足できたらと思っています。(近いうちに発足予定)鷹巣町にも聴力障害者が多いようですが、手話を出来る人は三名程です。聴力障害者との意志伝達法は手話に限りませんが、障害者の緊張度が一番少ないのがこの方法だと思っています。耳が不自由なため、社会で活躍出来ない沢山の人がいますが、私たちはこの人達のために少しでもお役にたたいと思っています。新しい会の発足の際には、皆さんと一緒に頑張ってみませんか。

みんなの広場



はこべ

春の七草の一つハコベ。世界のいたるところにはえている。小鳥が好む。

(南小・阿部達雄先生)

広報のしおり

衣

暑くて長い夏、男のファッションにも昨年は異変が起こりました。肩章つきで、両胸のフタつきポケットという新型の半そでシャツ。パスポートシャツともクールウェーシャツ

ともいいますが、なんとこれがヤングだけでなく中年男性にも受けて、沈滞気味だったワイシャツ業界に十年ぶりに朗報をもたらしたといわれています。昨年は猛暑のせいでシーズン全体が四割から五割方売れ行きがふえたといいますが、その中で、肩章つき半そでシャツが、半そでシ

わがサークル

＝ 県北愛石会 ＝

わが県北愛石会は、昭和三十九年七月発足以来今日まで、約十六年という長い年月同好者をもつて組織してきたのであります。その間、秋田県一円の同好の士を結集して、全県に亘る愛石同好者間の連合会を作り、年一回全県愛石者の展示会を開催、そのほか年一回町の文化祭にも石展を設けて、町民に観覧していただいております。時移り、人代り、幾多の変遷の中に在っても、石は何億何千万年という年輪を重ね、豊かな色彩と数知れぬ形状を現わして、我々の日常生活に無言のまま人心を和らげ、石徳を教えてくれるのです。



(紹介者 桜田専蔵)

私も同好者は、県北一円から約三十名の会員と共に相連携し、励ましあつて今日に至っております。今年もまた八月下旬から、秋田市において県展が開かれ、十一月上旬の町の文化祭にもまた例年のごとく名石展を開催して、会員の名石を展示いたします。町民の方々は勿論、多数の愛好者の方々のご批評をいただければ、幸甚に存じます。

シャツの七十%を占めたということです。半そでシャツは、ここ数年、前年比九十%、八十%と下降線をたどり、クーラーの普及などもあって、おしゃれの層は、夏でも長そでの薄手シャツに向かっていました。さて、ことはどうでしょうか……。

おしらせ

受付時間は、午後零時半から一時まで。

◇ ◇

離乳食実習指導は、十六日(五十四年一月生まれ)となっています。受付時間は、午前九時から十時まで。乳児健康相談も併せて行いますので、お子さんもお連れください。※場所、いずれも鷹巣保健所です。

警察官募集中

『若い力を秋田県警察官へ』

昭和五十五年採用の警察官を次の要領で募集中です。

▽受験資格

八月の健康相談

成人健康相談は、二十二日です。時間は、午前九時から午後三時まで。血圧測定のほか、必要に応じて尿検査も行います。

◇ ◇

妊婦健康相談は、二十日です。時間は、午前九時から午後三時まで。おいでの時は母子手帳を忘れずにお持ち下さい。

また、今月の母親学級は、母乳栄養と妊娠中期の注意について。時間は、午前十時から十一時まで。※場所は、いずれも鷹巣公民館保健相談室です。

◇ ◇

乳児健康相談は、十六日(五十四年四月生まれ)となっています。

は、お茶、おやつ等を取らないでください。

検診料は、一人六百円(生保世帯無料)です。

8月17日(上町、黒沢(坊沢公民館) 18日(街道町、新屋敷町(同) 21日(小田、田子ヶ沢、松原(小田会館) 22日(綴子上町(上町児童館) 23日(大畑、岩谷、二本杉(大畑会館) 24日(糠沢(糠沢会館) 25日(前野、昭和(前野児童館) 28日(大堤(大堤会館) 29日(下町(綴子公民館) 30日(新田中(くるみ館児童館) 31日(田中、南田中(田中生活センター) 9月1日(今泉(今泉生活センター) 4日(前山、黒沢(前山会館)

失業者に生活資金を特別融資!!

労働金庫では、現在失業されている方を対象に生活資金の貸付をいたします。

貸付対象は、▽雇用保険の支給終了後、就職の意志を有し職安に求職申し込みをすること、▽世帯主であること、▽借入申し込みの日において、雇用保険支給終了後六ヶ月以内であること、▽勤労者互助会に加入していること、貸付条件は、▽限度額三十万円、▽貸付金利年六%、▽保証料二〇、七三%、▽貸付期間二年内以内(三ヶ月据置)、▽保証人一名、▽信用保証(県労働者信用基金協会の保証必要) ぐわしくは、役場商工観光課へお問い合わせください。

香典返し

このほど次のかたから、香典返しにと町社会福祉協議会へ寄付金がありました。

ご芳志に深く感謝いたします。

▽岩脇千久蔵さんから亡妻ツタさんの香典返し 二〇、〇〇〇円

▽今泉成田久夫さんから亡父桑五郎さんの香典返し 三〇、〇〇〇円

▽掛泥斎藤順一さんから亡父順三さんの香典返し 二〇、〇〇〇円

▽松葉町津谷忠男さんから亡父政佳さんの香典返し 二〇、〇〇〇円

▽田中三沢秀夫さんから亡父元一郎さんの香典返し 二〇、〇〇〇円

▽七日市山城一郎さんから亡母ミネさんの香典返し 二〇、〇〇〇円

▽摩当小坂文則さんから亡父源之助さんの香典返し 五〇、〇〇〇円

▽大堤三沢辰雄さんから亡母ミサさんの香典返し 二〇、〇〇〇円



7月16日~7月31日

誕生おめでとうございます

寺田 俊輔(一徳 長男)坊沢大町 小塚麻友子(武夫 長女)堂ヶ岱

千葉沙登美(功 二女 岩 松田真矢子(光博 二女 新舟見町 成田 夕子(幸夫 二女 新松葉町 福岡 咲子(正治 長女 大町 長崎 勝利(勇造 長男 新田中 畠山 太彰(勇悦 長男 脇 小笠原亜沙美(勇夫 長女 前山 久留島 隆(勉 長男 岩 寺田祐希子(満広 二女 坊沢大町 戸島 瞳(賢一 長女 坊沢上町

二人の前送を祝福いたします

花田 公明 脇 神 津谷 ヒサ子 坊沢羽立 細田 正夫 前野 稲葉 礼子 仲 場 市川 公雄 舟 場 村上 照美 花園町 千葉 正人 横 沢 佐藤 喜代子 深 沢 佐藤 伸一 東 通 田中 光子 大館市 小川 幸雄 北海道 永井 ウメ子 坊沢羽立 水戸 昌弘 田代町 小笠原 明美 綴子大畑

おくりやみ申しあげます

武藤 イシ(76歳) 学校通 山城 ミネ(78歳) 七日市 三沢 トメ(77歳) 大堤 津谷 政佳(67歳) 松葉町 三沢 ミサ(87歳) 大堤 齋藤 サン(70歳) 下町 齋藤 弥助(71歳) 新旭町 齋藤 良助(94歳) 東住吉町